[illegible]

小空間に最適！
無香料
KINCHO
60 プッシュ
蚊がいなくなるスプレー
小空間用
広さ1畳あたり 1プッシュ
車内で プッシュ!
玄関で プッシュ!
洗面所で プッシュ!
トイレで プッシュ!

KINCHO[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]

以上のラインナップとなっております。

トップに目次がありますので、興味がある部分だけでも抜き出して読んでみてください。

妊婦さんや赤ちゃんがいるご家庭におススメの蚊取りグッズ3選

蚊取りグッズ製品	効果時間	使い方・動力	値段	安全性
蚊がいなくなるスプレー	12~24時間	室内でスプレーをワンプッシュ	525円	高
ノーマット蚊取り	60~90日	コンセントタイプや電池タイプ	798円	高
玄関などの吊り下げタイプ	1か月~1年	玄関や室内ドアノブに吊るだけ	831円	高

値段はいずれもネット販売価格の最安値（送料含まず）を参照

おススメの3選はいずれも高い効果を発揮し、さらに火を使ったり煙が出たりしないので屋内でも使いやすく安全性も高い商品ばかりです。

ずっとお布団に寝ている赤ちゃんだけでなく、歩きだしいたずら盛りの幼児がいるご家庭でも安心してご使用いただけます。

比較的に安価なのも嬉しい点ですね。

赤ちゃんや妊婦さんがいる家庭で使用しても大丈夫なのか?

リンク

繰り返しになりますが、蚊がいなくなるスプレー、ワンプッシュ虫よけは赤ちゃんや妊婦さんがいるご家庭で使用しても大丈夫です。

実際に我が家でも使用していますが、赤ちゃんの体調が悪くなるなどの影響もなくキッチリと憎い蚊を駆除してくれました。

ただし、噴出する薬剤を直接吸い込んでしまわないように注意しましょう。

各製薬会社の公式HPでも説明されていますが、直接人体に吹きかけたり、スプレーを多量に直接吸い込むことで少なからず影響が出てしまいます。

ではなぜ大丈夫なのか、どうすればいいのかを説明します。

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

[illegible]

[illegible]1[illegible]

[illegible]

KINCHO
for レジャー
蚊がいなくなる
カトリス
960
時間用
海外旅行に
車内で
テントで
室内でも
電池式蚊とり

KINCHO[illegible]

[illegible]

- [illegible]
- [illegible]

[illegible]

[illegible]

□□□

蚊取り線香は火を使うので赤ちゃんや子供に危険

まだ自由に動くことのできない子供であれば比較的問題はありませんが、自分で歩いたりなんにでも興味を示す年齢になってくると注意が必要です。

火がついていなくても製品を食べてしまったり、火をつけるためのライターなどの誤飲や燃えた後の灰を触って口にするなど様々なリスクがあります。

これらは手の届かない高い場所に保管すれば問題はありませんが、万が一という事もありますので蚊取り線香を使用する場合は煙だけでなく保管方法にも注意しましょう。

なめたり一欠けら食べてしまう程度であればうがいなどをさせて様子を見る程度で済みますが、アレルギーなどの症状が出てくることもあります。

また大量に食べてしまった場合は嘔吐や腹痛などの症状が出るので、そんな場合はすぐにかかりつけのお医者さんなどの医療機関を受診しましょう。

液体蚊取りは比較的安全

液体蚊取り線香は火も使わず、煙も出ない為赤ちゃんや子供がいるご家庭でも安心してご使用いただけます。

気を付けなければならない点は蚊取り線香と同じで、ピレスロイド配合の液体を熱で気化させて蚊を駆除する仕組みですので、長時間使用する際は時々換気をする必要があるという事です。

あとは、蚊取り線香と違い、電源が入っている限り動き続けるので、使用していることを忘れて消し忘れてしまうことが多いという点です。

蚊取り線香ならば1巻燃え尽きれば終わりですが、液体蚊取りは薬剤が残って電源が入っている限り終わりはないので、夜寝るときにつけて朝消すのを忘れがちになります。

それでも蚊取り線香に比べて煙がないので喘息や咳などの害もなく、臭いも近くで嗅ぐと少しは臭う製品もありますが、設置場所次第でつわりの影響を与えるほどでもありませんし、火を使っていないので子供が万が一触ってもそこまで害はありませんので、比較的安全な製品です。

液体蚊取りも蚊がいなくなるスプレー等と同じでピレスロイド成分を含んでいるため、赤ちゃんや妊婦さんはもちろん、大人やペットにも影響はないので安全性の面でも優れています。

2022年現在、知人友人リアル家族どこの家に行っても液体蚊取りか蚊がいなくなるスプレーなどのワンプッシュ虫よけを使っている家がほとんどでした。

屋外で犬を飼っているおうちは、外ではペット用蚊取り、室内では蚊がいなくなるスプレーなどのワンプッシュ蚊取りと使い分けていましたので、環境に合わせて使い分けるのが効果的です。

室内なら蚊がいなくなるスプレーの効果はすごい（まとめ）

まとめ

- 蚊がいなくなるスプレー、ワンプッシュ虫よけは赤ちゃん、妊婦さんがいる家庭でも使える
- 心配ならば、数分だけ赤ちゃんや妊婦さんを避難させる
- 蚊がいなくなるスプレー、ワンプッシュ虫よけ以外の製品はこんなのがある
- 蚊取り線香の煙とそれ以外の要因が与える危険性
- 液体蚊取りは比較的安全

以上のようなことがわかります。

夏の蚊が出てくる時期は憂鬱なもので、快適に夏を過ごす為には蚊などの虫よけ対策は必須です。

とはいえ、ご家庭に赤ちゃんや妊婦さんがいると、本当に蚊がいなくなるスプレー、ワンプッシュ虫よけや蚊取り線香などを使っても大丈夫なのか、体に影響はないのかと心配になるのは当然です。

いずれの製品も各メーカーが試行錯誤しユーザーの事を考えて開発されているはずですので、当然人体への影響は真っ先に考慮されているようです。

実際に我が家も最初は心配して使用を控えることも検討しましたが、赤ちゃんが蚊に刺されて痒がっている姿は可愛そうですし、掻きむしることで別の問題も出てきますので最終的に蚊がいなくなるスプレー、ワンプッシュ虫よけを使用しましたが何も問題はありませんでした。

赤ちゃんや妊婦さんへの影響を心配する気持ちもわかるので、今回は蚊がいなくなるスプレー、ワンプッシュ虫よけや水性蚊取りなどの虫よけグッズを使っても大丈夫だという内容を書きました。

今年の夏も虫よけグッズを有効活用し快適に過ごしていただければ嬉しく思います。